

新型コロナ ワクチン接種 Q&A

ワクチン接種費用は無料!



新型コロナワクチンは2回接種を受けることで、新型コロナウイルス感染症の発症を抑える高い効果があり、重症化や死亡のリスクを減らす効果も期待されています。

現在の接種対象年齢は12歳以上です。

Q ワクチン接種後、どんな副反応が出ますか?

A ワクチン接種後、注射した部分の痛みや倦怠感、発熱、頭痛や関節痛などが生じることがあります。できるだけ接種当日、翌日に無理をしないで済むように予定を立てておくとよいでしょう。

発現割合	症 状
50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛
10~50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ
1~10%	吐き気、嘔吐

コミナティ®(ファイザー社) 添付文書より改編

Q ワクチン接種後に熱が出たら、どうしたらいい?

A ワクチンによる発熱は接種後1~2日以内に起こることが多く、必要な場合は解熱鎮痛剤を服用いただくなどして、様子みてください。

ワクチンを受けた後、2日間以上熱が続く場合や、症状が重い場合、ワクチンでは起こりにくい症状(せきや咽頭痛、味覚・嗅覚の消失、息切れ等)がみられる場合には、医療機関等への受診や相談を検討してください。

Q ワクチン接種できないのは、どんなとき?

A 一般に、以下のときは、ワクチンを接種することができません。あてはまるときは、ワクチンを接種してもよいか、かかりつけ医にご相談ください。



- 明らかに発熱(通常37.5℃以上)している(※1)
- 重い急性疾患にかかっている
- ワクチンの成分に対し、アナフィラキシー(急性のアレルギー反応)など重度の過敏症(※2)の既往歴がある

(※1) 37.5℃を下回っていても平熱から発熱と判断される場合もあります。

(※2) アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。

なお、予防接種法に基づく公費での接種の対象は、接種の日に満12歳以上の方です。このため、12歳未満の方は、ワクチンの接種の対象にはなりません。

Q 新型コロナウイルスに感染したことがある方や妊婦は、ワクチン接種できる?

A すでに新型コロナウイルスに感染した方も、新型コロナワクチンを接種することができます。

ただし、接種まで一定の期間をおく必要がある場合がありますので、いつから接種できるか不明な場合は、主治医にご確認ください。なお、事前に感染したかどうかを検査して確認する必要はありません。

また、妊娠中、授乳中、妊娠を計画中的の方も、新型コロナワクチンを接種することができます。



詳しく知りたいときは…

厚生労働省では、新型コロナワクチンの総合案内サイト「ワクチンナビ」を開設し、ワクチン接種の流れや会場、Q&Aを掲載しています。



<https://v-sys.mhlw.go.jp/>

ワクチンナビ

検索

